

# ‘星空舞’特別栽培体系に向けた 発酵鶏糞と菜種油粕を用いた有機質肥料施用法

## 概要

‘星空舞’における有機質肥料施用法として、

- ★基肥「発酵鶏糞」窒素3kg/10a
- ★穂肥「菜種油粕」窒素4kg/10a により、

化成慣行栽培と同等の収量・品質の確保が可能である。

## 基肥「発酵鶏糞」

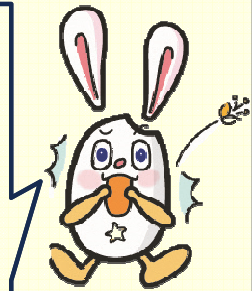
- ★基肥に「発酵鶏糞」を窒素3kg/10a施用

▶ 慣行栽培と同等の生育を確保!!

表. 幼形期生育調査結果

	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色	窒素 吸収量 (kg/10a)
化成慣行区	229	387	33.6	3.50
鶏糞窒素3kg施用	206	383	33.7	3.41
生育指標	-	290~420	36以下	-

茎数・葉色も  
幼穂形成期  
生育指標の  
範囲内だね!



## 穂肥「菜種油粕」

- ★穂肥の施用窒素量を変えて比較を行いました。

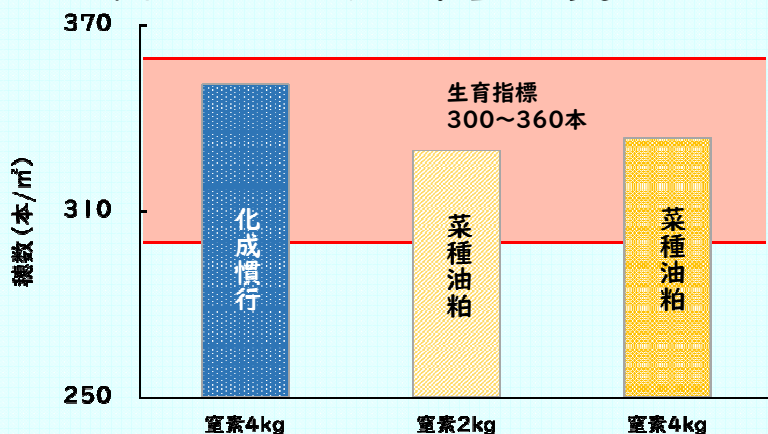


図1 穂数の比較

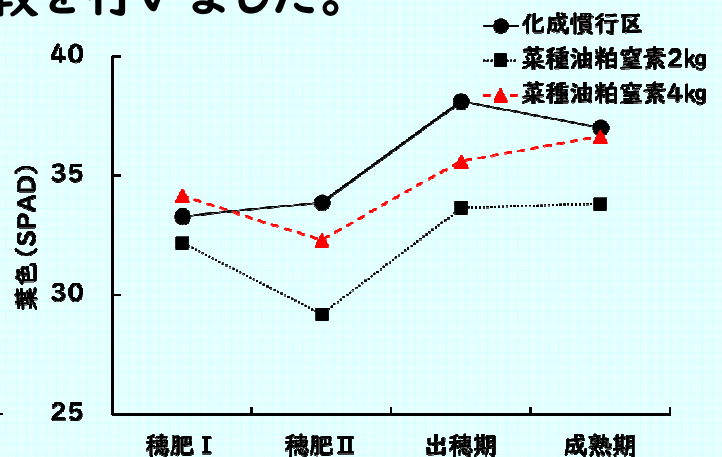


図2 穂肥施用後の葉色の推移

- 穂数は指標の範囲内。葉色は菜種油粕窒素2kgで淡い傾向。  
→菜種油粕窒素4kgで慣行と同等の葉色を確保

# 精玄米重の比較

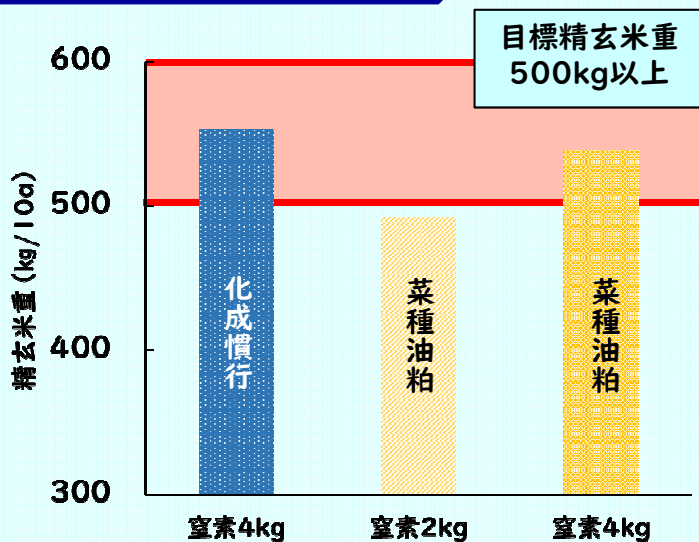


図3 精玄米重の比較

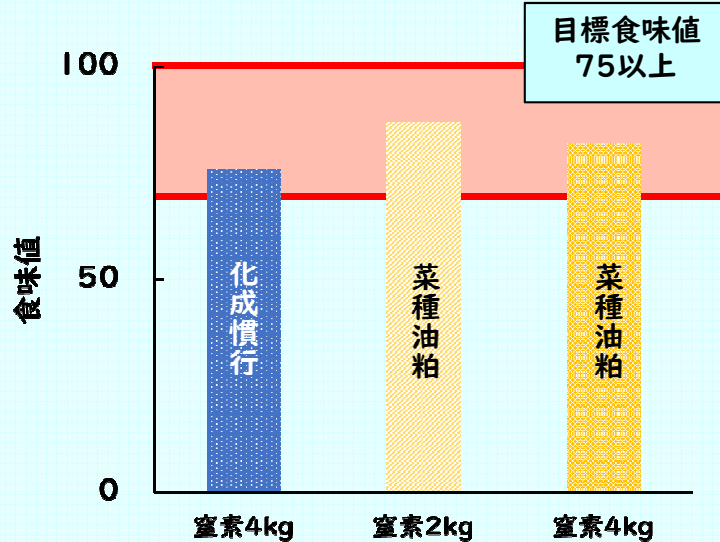


図4 食味値の比較

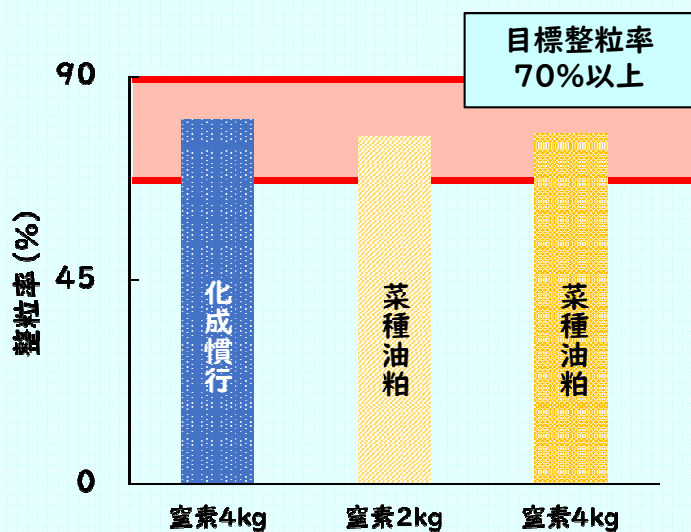


図5 整粒率の比較

表2 窒素量の違いによる収量・品質の簡易判定

	菜種油粕窒素2kg	菜種油粕窒素4kg
精玄米重	×	◎
食味値	◎	○
整粒率	○	○

- 精玄米重は菜種油粕窒素2kgでは減少の危険性あり。
- 食味値は菜種油粕窒素2kgで最も高いが、菜種油粕窒素4kgでも目標値以上を確保できる。
- 整粒率は、慣行と同等の品質を確保。目標値以上の栽培が可能。

**穂肥は菜種油粕窒素4kgで収量・品質・食味が安定！**

## 利用上の留意点

- 2021年～2022年に農業試験場(細粒質普通灰色低地土)にて調査を行い、施肥以外の管理は農業試験場慣行とした。
- 有機質肥料は肥効発現に時間を要するため、基肥:移植2週間前、穂肥:幼穂長1mm時に全量を施用する。
- 栽培期間中はガス湧きが多くなるため、2～3日の落水によりガス抜きを行う。
- 発酵鶏糞・菜種油粕は成分を把握したうえで使用する。